

その35

介護の現場から

介護

健康園いこいは、利用者の皆さんが「寄り添って笑顔とともにゆったりと地域の中であなたらしく」生活できるようにと理念を掲げています。利用者の思いや一人一人の願いを大切に、介護が必要でも時間をかければできることは見守りをしながら、誇りや自信、意欲を大事にしてサービス提供を行っています。健康園いこいでは、日課はほとんどなく、天気



がよい日に誰かが「外に行きたいなあ」と言えば、「じゃあどこに出かけようか?」というように外出し、ドライブにも行きます。

行き先も利用者のかたと相談して決めます。早春の日のドライブでは、フキトウ探しに出かけ、翌日の昼食には『ほんけみそ』や『天ぷら』で楽しみました。草のぼたもちを作るために、ドライブを兼ねながらヨモギの

利用者の笑顔をサポート ①

今井 朋子 小規模多機能型居宅介護事業所 所長

新芽を摘み、帰宅してからみんなでごみを取り、ゆでて準備することもあります。

天神祭や大山まつりのパレード見物に出掛け、帰ってからの思い出話には、若いころの話も出たりしてにぎやかになります。

七夕では、願い事を書いた短冊を持って神社の笹竹に納めに行き、「昔はよくお参りに来たものだ!」という声が聞かれます。

紅葉のころは、ドライブ

思いや願いを大切に

フシながら昼食を外食にし、買い物を楽しむ事もあります。利用者の方々は、なかなか行く機会が少ない遠方に出掛ける時、「昔は来たもんだ!」と懐かしむことがたくさんあります。

12月の大黒様のお歳夜・1月の新年お祝い・2月の節分・3月のひな祭り等、昔から行われてきた四季折々の行事を大切にしています。

健康園いこいの小さな手で、「なんぼでもたす」



草もちを作るため摘んできたヨモギの新芽の下処理をしているところですが、

「トランプ大会」が時々開かれます。利用者の皆さんとスタッフが一つのテーブルを囲み、利用者が自分でカードを選ぶのに苦労しているときには、他のスタッフがスムーズに出せるようにサポートするなどみんな本気で勝負が決まった時は、戸外に聞こえる大きな笑い声に包まれます。それを見ていた利用者からも笑みがこぼれます。

このように家庭的な雰囲気の中で、毎日ゆとりと過ごし、その人それぞれに合ったサービス提供を行います。小規模多機能だからこそのお一人お一人の気持ちに寄り添いながら、今日の思いや明日の願いを大切にしたいサービスの提供をこれからも行っていきます。

このコーナーは第2、第4水曜日付に掲載予定。